

NYマーケットレポート（2014年5月20日）

昨晚の NY 外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表もなく取引材料に乏しい中、ドル円・クロス円は小動きの展開で始まりました。そして、欧米の株価が軟調な動きとなったことを受けて、投資家のリスク回避の動きが先行し、円を買う動きが優勢となりました。また、安全資産とされる米国債も買われ、債券利回りが低下となり、日米金利差縮小観測が出たこともドル/円の圧迫要因となりました。ただ、日銀の金融政策決定会合の結果発表を控えて様子見ムードも強いことから、値動きは限定的となりました。そして、終盤には株価が安値から下げ幅を縮小したことから、ドル円・クロス円は引けにかけて値を戻す動きとなりました。

2014/ 5/20 (火)

TOKYO	東京終値	東京高値	東京安値
USD/JPY	101.39	101.61	101.37
EUR/JPY	138.85	139.31	138.81
GBP/JPY	170.70	170.84	170.43
AUD/JPY	94.02	94.74	93.97
EUR/USD	1.3695	1.3714	1.3692

LONDON	LD高値	LD安値
USD/JPY	101.40	101.25
EUR/JPY	138.96	138.54
GBP/JPY	170.96	170.39
AUD/JPY	94.03	93.73
EUR/USD	1.3707	1.3679

*LD高安は東京クローズ～NYオープンまでの高安

アジア主要株価	終値	前日比
日経平均	14075.25	+68.81
ハンセン指数	22834.68	+130.18
上海総合	2008.12	+2.94
韓国総合指数	2011.26	-3.88
豪ASX200	5420.35	+11.38
インドSENSEX指数	24376.88	+13.83
シンガポールST指数	3265.47	+3.04

欧州主要株価	終値	前日比
英FT100	6802.00	-42.55
仏CAC40	4452.35	-17.41
独DAX	9636.08	-20.31
ST欧州600	338.32	-0.19
西IBEX35指数	10453.80	+28.30
伊FTSE MIB指数	20379.85	+61.39
南ア 全株指数	49617.00	+109.52

NEW YORK	NY終値	NY高値	NY安値
USD/JPY	101.30	101.45	101.19
EUR/JPY	138.78	139.00	138.55
GBP/JPY	170.58	170.78	170.42
AUD/JPY	93.69	93.92	93.56
NZD/JPY	86.85	87.02	86.66
EUR/USD	1.3701	1.3706	1.3688
AUD/USD	0.9250	0.9269	0.9241

米主要株価	終値	前日比
米ダウ平均	16374.31	-137.55
S&P500	1872.83	-12.25
NASDAQ	4096.89	-28.92
その他主要株	終値	前日比
カナダトロント総合	14525.19	+10.45
ブラジルボルサ指数	41805.10	-34.95
メキシコボベスバ指数	52366.19	-986.91

5/21 経済指標スケジュール

08:50 【日】4月貿易収支
09:30 【豪】5月ウエストバック消費者信頼感指数
10:00 【豪】4月DEWRインターネット求人指数
10:30 【豪】10賃金コスト指数
14:00 【日】4月全国スーパー売上高
16:00 【スイス】4月マネーサプライM3
17:00 【欧】3月経常収支
17:00 【南ア】4月消費者物価指数
17:30 【英】5月英中銀 議事録
17:30 【英】4月小売売上高指数
20:00 【米】MBA住宅ローン申請指数
22:00 【メキシコ】3月小売売上高
23:00 【欧】5月消費者信頼感
03:00 【米】FOMC議事録公表

コモディティ	終値	前日比
NY GOLD	1294.60	+0.80
NY 原油	102.33	+0.22
CMEコーン	473.50	-3.75
CBOT 大豆	1469.75	-15.50

米国債利回り	本日	前日
2年債	0.33%	0.34%
3年債	0.77%	0.79%
5年債	1.51%	1.54%
7年債	2.05%	2.08%
10年債	2.51%	2.54%
30年債	3.38%	3.39%

5/21 主要会議・講演・その他予定

- ・日銀総裁 定例会見
- ・イエレンFRB議長 講演
- ・NY連銀総裁、ミネアポリス連銀総裁 講演

(出所:SBILM)

NY 市場レポート

21:00

ドル/円 101.38 ユーロ/円 138.89 ユーロ/ドル 1.3702

21:00

欧州株式市場・米株価指数先物

欧州主要株価	株価	前日比	米株価先物	株価	前日比
英 FT100	6810.71	-33.84	ダウ INDEX FUTURE	16478	-3
仏 CAC40	4457.66	-12.10	S&P500 FUTURE	1881.80	-0.50
独 DAX	9651.06	-8.33	NASDAQ FUTURE	3614.25	-1.00

(出所: SBILM)

21:00

《 経済指標の結果 》

4 月ポーランド鉱業生産販売(前月比) -2.3% (予想 -2.6%・前回 9.4%)

4 月ポーランド鉱業生産販売(前年比) 5.4% (予想 5.1%・前回 5.4%)

4 月ポーランド生産者物価指数(前月比) -0.1% (予想 0.0%・前回 -0.2%)

4 月ポーランド生産者物価指数(前年比) -0.7% (予想 -0.7%・前回 -1.3%)



(出所:ブルームバーグ)



21 : 00

《 要人発言 》

リーカネン・フィンランド中銀総裁 (ECB 理事会メンバー)

- ・「ECB は、短期金利上昇なら SMP 不胎化停止・コリドーの調整・利下げ・LTRO などが選択肢」
- ・「ECB は、デフレリスクが著しく増大すればフォワードガイダンス強化か証券買い入れ実施の可能性」
- ・「ECB は、ユーロ上昇により短期市場が理由なくひっ迫しインフレ押し下げなら行動の用意ある」
- ・「ECB の責務、現時点での金融緩和実施を制約せず」

21 : 30

《 経済指標の結果 》

3月カナダ卸売売上高(前月比) -0.4% (予想 0.4%・前回 1.1%)



22 : 33

米主要株価

米主要株	株価	前日比
ダウ平均	16495.68	-16.18
ナスダック	4122.44	-3.38

(出所:SBILM)

23 : 30

《 NY 株式市場 序盤 》

序盤の株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、高値警戒感から一旦利益を確定させる売りが先行した。また、欧州主要株価が軟調な動きとなったことも影響して、主要株価が軟調な動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で 76 ドル安まで下げる場面もあった。

《 海外の話題 》

インド中銀は、昨年のような通貨ルピーの急落に備え、ドル準備高を積み増し、通貨防衛の戦略を練り直していると、複数の関係者が明らかにした。昨年 8 月にルピーが対ドルで過去最安値をつけた局面で中銀への批判の声が高まったことが背景にある。

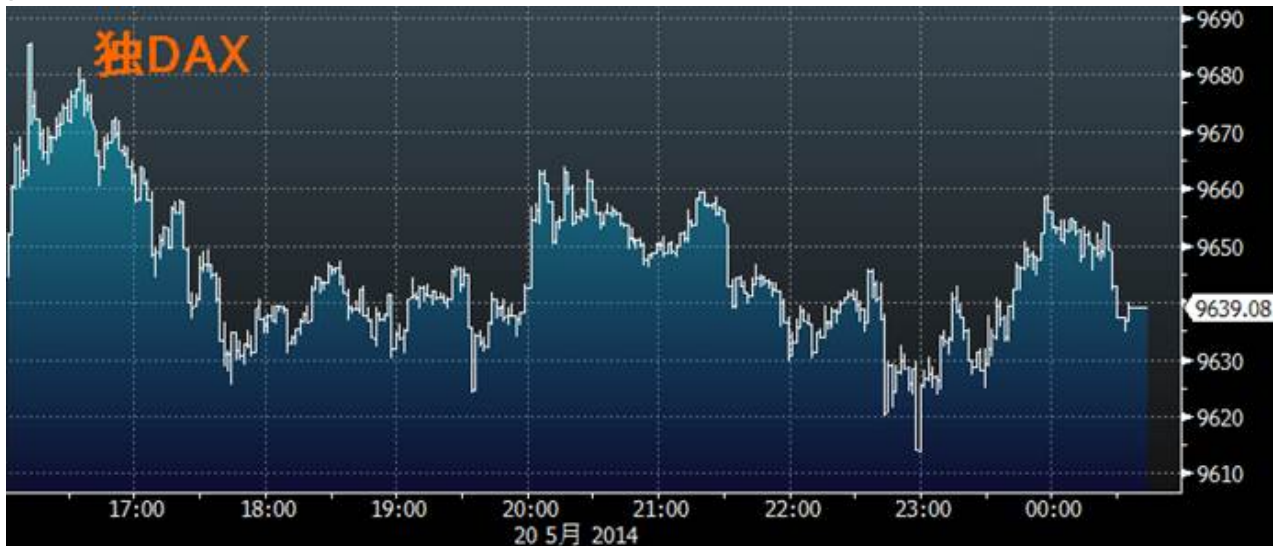
ただ、中銀にはインフレへの懸念があることから、ドル準備高を一気に積み増すには至っていない。それゆえ、中銀のドル買いで銀行システムのルピー流動性が急増した場合は、国債を売って余剰資金を吸収する必要がある可能性がある。関係者らによると、それでもなお、為替管理政策の中心となる措置は、可能な限り準備高を引き上げることで、ドル買いの目標は設定されていないという。

欧州主要株価	終値	前日比
英 FT100	6802.00	-42.55
仏 CAC40	4452.35	-17.41
独 DAX	9639.08	-20.31
ストック欧州 600 指数	338.32	-0.19
ユーロファースト 300 指数	1357.00	-1.91
スペイン IBEX35 指数	10453.80	+28.30
イタリア FTSE MIB 指数	20379.85	+61.39
南ア アフリカ全株指数	49617.00	+109.52

(出所:SBILM)

《欧州株式市場》

欧州株式市場は、新規の取引材料に乏しく、やや方向感に欠ける動きとなった。ただ、通信大手企業の減益見通しが嫌気されて株価が下落するなど、英 FT100 はやや下げ幅が拡大した。



(出所:ブルームバーグ)

1 : 00

米主要株価・中盤

ダウ 16462.45 (-49.41)、S&P500 1881.29 (-3.79) ナスダック 4120.54 (-5.28)

《ポイント》



(出所:ブルームバーグ)

米ダウ平均株価が、一時前日比で 100 ドル以上の下落となるなど、主要株価の下落を背景に、安全資産とされる米国債を買う動きが出ており、米 10 年債利回りは低下となっている。また、円を買う動きも出ており、ドル円・クロス円は軟調な動きが続いている。

《欧州のポイント》

- ①ECB は、期間 7 日の流動性供給オペを実施し、193 行に総額 1319 億 5670 万ユーロを供給したと発表した。
- ②ECB は、金融政策決定会合を毎月開催することをやめ、6 週間ごとに実施する案を検討している。複数の関係筋が明らかにした。景気の動向を見極める時間を確保することや、政策決定の間を開けることで合意形成がしやすくなるほか、次の会合の前に議事録を公表することもできることが狙いという。

《 NY 債券市場 ・ 午前 》

序盤のニューヨーク債券市場は、最近の上昇の反動で利益確定売りが続く半面、米国株の下落につれて米国債に資金を振り向ける動きも出ている。

午前の利回りは、30 年債が 3.39%（前日 3.39%）、10 年債が 2.53%（2.54%）、7 年債が 2.07%（2.08%）、5 年債が 1.53%（1.55%）、3 年債が 0.78%（0.79%）、2 年債が 0.34%（0.35%）。

2 : 05

《 要人発言 》

ダドリー・ニューヨーク連銀総裁

- ・「米インフレ率は、年内に加速と予想」
- ・「米インフレ率は、来年にかけて 2% の目標に近づく見込み」
- ・「向かい風弱まったが経済成長の軌道には引き続き失望」
- ・「第 1 四半期の景気鈍化は一時的なものだった」
- ・「利上げのペースは比較的緩やかに」

3 : 30

NY 金は、中心限月が前日比 0.80 ドル高の 1 オンス＝1294.60 ドルで取引を終了した。

4 : 15

NY 原油は、中心限月が前日比 0.17 ドル安の 1 バレル＝102.44 ドルで取引を終了した。

主要商品	終 値	前日比
NY GOLD	1294.60	+0.80
NY 原油	102.44	+0.17

（出所：SBILM）

《 NY 金市場 》

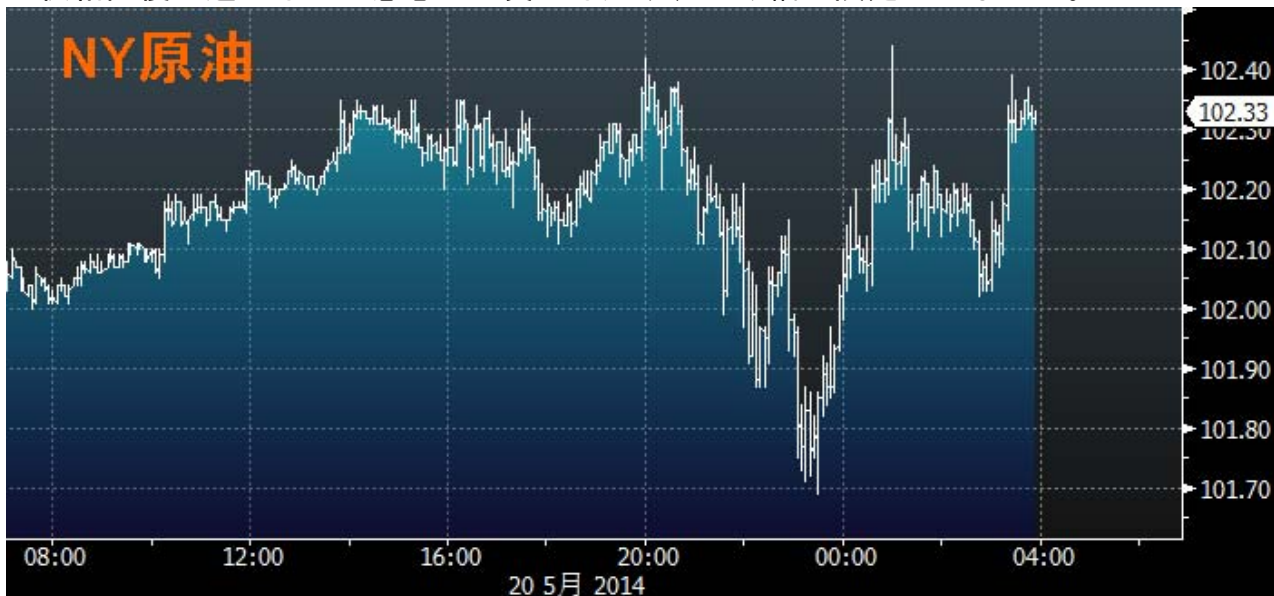
NY金は、米国株の大幅下落につれて投資家がリスク回避姿勢を強め、比較的安全な資産とされる金に資金を避難させる動きが優勢となった。また、中国やインドの今年1-3月期の金需要が前年から減少したと報告を受けて、売られる場面もあった。



(出所:ブルームバーグ)

《 NY 原油市場 》

NY原油は、21日に発表される米石油在庫統計で原油在庫の増加が見込まれるとして需給の緩みに対する懸念が再燃し、売りが優勢となった。ただ、リビア情勢の悪化で原油の供給回復が遅れるとの懸念から買いもあり、下げ幅は限定的となった。



(出所:ブルームバーグ)

主要株価	終値	前日比	高値	安値
ダウ平均株価	16374.31	-137.55	16511.22	16341.30
S&P500 種	1872.83	-12.25	1884.88	1868.14
ナスダック	4096.89	-28.92	4124.86	4080.61

(出所: SBILM)

《米株式市場》

米株式市場は、米国の主要な経済指標の発表がなく、取引材料に乏しい中、高値警戒感から一旦利益を確定させる売りが先行した。また、欧州主要株価が軟調な動きとなったことも影響して、主要株価が軟調な動きとなった。ただ、終盤にはやや下げ幅を縮小する動きとなった。ダウ平均株価は、序盤から軟調な動きとなり、一時前日比で170ドル安まで下げる場面もあった。



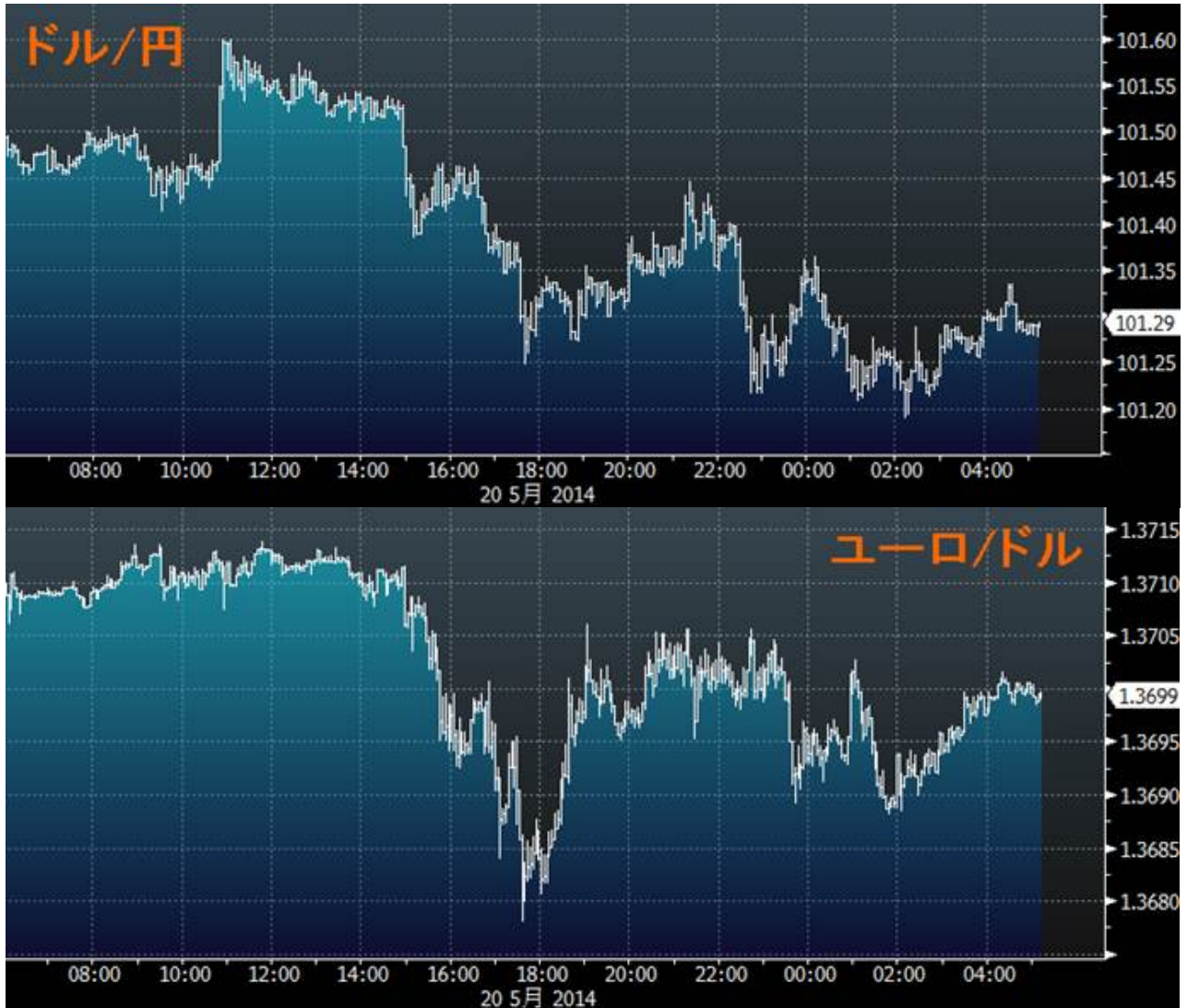
(出所: ブルームバーグ)

主要通貨	NY 終値	NY 高値	NY 安値
USD/JPY	101.30	101.45	101.19
EUR/JPY	138.78	139.00	138.55
GBP/JPY	170.58	170.78	170.42
AUD/JPY	93.69	93.92	93.56
NZD/JPY	86.85	87.02	86.66
EUR/USD	1.3701	1.3706	1.3688
AUD/USD	0.9250	0.9269	0.9241

(出所: SBILM)

《外国為替市場》

外国為替市場は、米国の主要な経済指標の発表もなく取引材料に乏しし中、株価が大きく下落したことを受けて、投資家のリスク回避の動きから円買いが優勢となり、ドル円・クロス円は軟調な動きとなった。しかし、日銀の金融政策発表を控えて様子見ムード強く、値動きはやや限定的となった。終盤には株価が下げ幅を縮小したことから、ドル円・クロス円もやや値を戻す動きとなった。



(出所:ブルームバーグ)

提供: SBI リクイディティ・マーケット株式会社

お客様は、本レポートに表示されている情報をお客様自身のためにのみご利用するものとし、第三者への提供、再配信を行うこと、独自に加工すること、複製もしくは加工したものを第三者に譲渡または使用させることは出来ません。情報の内容については万全を期しておりますが、その内容を保証するものではありません。また、これらの情報によって生じたいかなる損害についても、当社および本情報提供者は一切の責任を負いません。本レポートに表示されている事項は、投資一般に関する情報の提供を目的としたものであり、勧誘を目的としたものではありません。投資にあたっての最終判断はお客様ご自身でお願いします。